



広島女学院同窓会 東京支部ニュース

編集・発行 東京支部役員会

2012. 11. 01
第 60 号

今年度の聖句

求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。
そうすれば、開かれる。誰でも、求める者は受け、探す者は見つけ、門をたたく者には開かれる。

ルカによる福音書 11 章 9-10 節

東京支部の皆様へ

同窓会会長 大矢みどり (大矢／高 23)

同窓会東京支部の皆様には、いつも同窓会活動にご支援、ご協力を賜り有難うございます。私は、今年度の4月より会長を仰せつかっております大矢と申します。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

同窓会も、4月の全国代表者会議、ホームカミングデー、8月の平和祈念式等、半分以上の事業が終了しました。

関東ブロックでは、長年にわたって毎年、母校での350名の犠牲者を追悼し平和に向き合う集会として「夏雲の集い」を開催されています。今年も7月5日に、故山本知子(秦)先生のご主人でいらっしゃる山本学氏をお迎えして開催されました。この度、私も初めて参加させていただき、歴史のある横浜指路教会での藤掛順一牧師による追悼礼拝と、山本学さんの詩の朗読を拝聴し、深く感銘を受けました。そして、そこに参加しておられる同窓生の皆様のお姿に接し、この「夏雲の集い」を守り伝えていこうという強い思いと真摯な祈りを感じました。

同窓会でも、毎年8月6日に原爆慰霊碑の前で追悼と平和への祈りを込めて平和記念式典を行っております。時が経ち、遺族の方も高齢になられ、年々式に参加される方も少なくなって参りました。しかし、その一方、大学で催されるピースセミナーや平和学習活動に参加する米国や他大学の学生、また、中高校生等、若い世代の方々の参加が増えてきております。特に今年は、海外からお越しの40名を含む



250名余りの方々の参加がありました。また、式の後には被爆60周年の時に発行された証言集「平和を願う人々へ」から抜粋し朗読会を行っております。200名近くの方々が、本当に静かに一生懸命聴き入っている姿を見ておりますと、人種を超え、若い人たちに語り継いでゆくということがとても大切なことなのだと痛感いたしました。

広島から遠く離れた関東ブロックにおいても同じように同窓生が手を携えて語り継ぎ守っておられることは、とても素晴らしいことだと思います。若い方々が、生まれ育った広島を離れ、新しい土地で生活を始められても、そこには広島女学院の同窓生がおられ、温かく迎えて下さる場所があるということは、たいへん喜ばしいことではないでしょうか。これからも同窓生の絆を大切に、共に歩んでまいりましょう。皆様方のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

飛躍する女学院大学（その1）

広島女学院大学学長 長尾ひろみ

（井田／高 20、文英 2）

私が広島女学院大学の学長に就任したのが 2010 年 4 月ですので、はや 2 年半が経ちました。この間、多くの改革に着手し実行してまいりました。このコラムは数回に分けて、広島女学院大学が未来に向かって飛躍する姿をご紹介しますと思っています。



■全学改組に関して（全人教育と手の業）

今まであった文学部と生活科学部という名称を、国際教養学部と人間生活学部に変更しました。

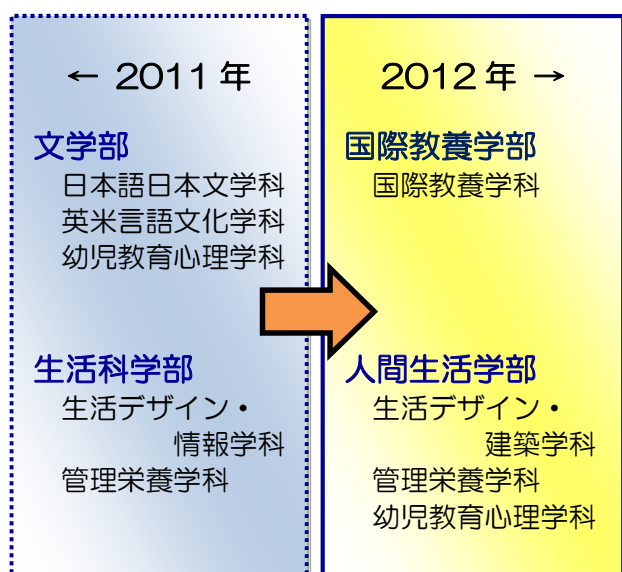
「国際教養学部」は元の文学部にあった英米言語文化学科と日本語日本文学科を解体したのではなく、発展的解消としました。英米言語文化学科を例に取りますと、国際教養学科の中の 14 のメジャーのうちの 3 つに分かれて存在しています。

Global Studies in English というすべての授業を英語で行うメジャーと、英語教育メジャー、これは英語教員をめざす教員養成に特化したメジャーです。それと英米文学および文化を学ぶ英米文化メジャーの 3 つです。従来は英米言語文化学科に

入れば、1・2 年生の一般教養科

目以外は、とくに 3・4 年生は英語関連の科目しか勉強しませんでした。今回の改組では、今までのように「英語が好き？では英文科ね」「本を読むのが好き？だったら日文ね」という学科の決め方ではなく、入学して 1・2 年では専門研究分野のそれぞれの入門を選択し、自分に最も適した研究分野を決めてゆけばよいのです。

また、文学部のもう一つの学科であった幼児教育心理学科を人間生活学部に移し、生活科学部生活デザイン・情報学科にあった芸術文化、ビジネス、情報、環境の分野を国際教養学部に移しました。これで、「国際教養学部」はリベラルアーツ教育、つまり全人的人間教育の学部として形が出来上がったのです。「人間生活学部」は、元の家政科から派生した管理栄養学科と生活デザイン・情報学科にもともと存在していた「建築」を表に出し、生活デザイン・建築学科とし、幼児教育心理学科を合わせた三つの学科で構成したのです。つまり、この学部は手の業、資格系をまとめたこととなります。



■教育免許の見直し

国際教養学科では、一つの学科で4つの教職免許を出すことが可能になりました（本来は一学科、一教職免許というのが基本的な考えです）。英語、国語、社会、情報の教職免許を出すことができます。今、世の中で問題になっているのは、英語の教員が英語しか知らず、人とのコミュニケーションもできず、もろく崩れてしまう先生が少なくないという事です。広島女学院大学では、応用力のある教員を育てるという考えで養成、輩出する新しい形を整えました。

国際教養学部の教員養成は、専門分野はもとより、平和学、環境学の科目を3・4年生で取ることができ、その上、ビジネスメジャーの科目を取り、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を鍛えることができます。つまり、専門分野のことは知らないのではなく、多くの分野の知識も知ることにより、客観的かつ総合的な視点で思考できる教員を輩出したいと考えています。もちろん、人間生活学部でも、従来の家庭科教員、小学校教諭、幼稚園の教諭免許や保育士免許も自分の努力次第で取れます。

改組に伴って、学部のカリキュラムは変更され、今は新カリと旧カリという呼び方をしながら4つの学部が並行して動いています。これは文学部と生活科学部の学生をすべて卒業させるまで続きます。決して旧学部の在校生をおろそかに扱わないということは、全教職員心しています。また、2010年度から始まった新しい体制が初めての卒業生を出す2015年3月には、ほぼ体制が確立し、またその時代に合わせた微調整がなされることとなります。

■大学生活（ボランティアセンター）

今回の改革は、カリキュラムの変更だけではなく、学生の生活にも大きな変化をもたらしました。

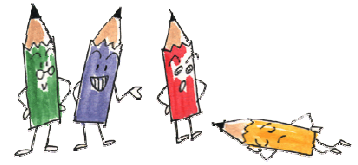
ボランティアセンターの発足 ― 今までバラバラにボランティアをしていた学生が大学のボランティアセンターに登録し、ボランティアセンターが把握し仲介するボランティア活動に参加します。今の時代、いろんな団体がボランティアという仮面をかぶって学生を洗脳する危険性があるからです。また、ボランティアという名のもと、相手を傷つけたり、迷惑をかけてしまう場合もあります。ですから、大学の教育の一環として、ボランティアのトレーニングをしてから現場に出てもらいます。

ボランティアセンターには、400人の学生が登録しています。カープの選手と共に行う樽募金は、東北の復興支援に送られます。フラワーフェスティバルでは、折り鶴広場を設けて市民の方たちと折鶴を折り、今年は16,000羽を平和の祈りと共に「原爆の子の像」に献納しました。FIFA U-20ワールド女子サッカー大会の補助としてもサポート部隊で出動し、その他、大学近隣の清掃、地域のおおずき祭りのお手伝い、障がいを持った子どもたちの学習支援など、多岐にわたった経験をしています。ボランティアは「してあげるのではなく、させていただき、共に成長する」良い学修の場であると思っています。

次回は「教育の質」を
上げることに努力して
いることをお話しします。



つくろう！自分色。



ブランクを経ての起業

飯田 和子 (岡田/短大28)

私は今、同窓生の輪を感じ過去に思いを寄せています。きっかけは、今年になって東京支部の支部長坂下様からいただいた一本のお電話でした。年会費振込用紙に書き込んでいたコメントをお読みいただき、お声かけ下さった事に感動している私に、7月28日に銀座教会で薬膳のお話をさせていただく機会を与えて下さいました。

テーマは『夏バテを防ぐ薬膳』。暑い中多くの方々にご参加いただきました事、ここに改めて感謝申し上げます。

栄養士として、薬膳のお話を中心に、食育にまつわるお話もさせていただきましたが、なぜ栄養士が食育や薬膳なのか、疑問を持たれた方もいらっしゃると思います。そこで今回は、ブランクを経て、食育や薬膳の講座に触れ、起業に至るまでの手探り奮闘記を時系列で紹介させていただこうと思います。

幼いころから、料理することが好きで台所に入り込んでいた私は、迷うことなく栄養士になることを選択し、広島女学院大学に入学しました。クラスメイトと共に、献立作成や栄養計算に追われた日々の結果、得られた栄養士の資格は私の原点です。卒業後に調理師学校に就職し、授業に明け暮れる日々の中で、調理師の先生方の助手につくこともでき、色々な料理経験をさせていただいた事を加え、私のベースとなっています。

ベースは出来ましたが、結婚で退職した後は、子育てに追われる日々を過ごし、栄養士として活動しておりませんでした。再スタートのきっかけは、東京に住み始め、子どもが塾にお弁当を持参するようになり、“家族揃った夕食”という普通の事が程遠い状況となった時、考え込んでしまったことからでした。



生活リズムが変えられない現実と理想の狭間で、栄養士として何ができるか考えていた頃、同じ考えを持つ地元の栄養士と意気投合し、子どもの食育を考えようと2000年にKITを立ち上げました。休止中の変化に追いつき、仕事のブランクを少しでも解消しなければと、積極的に研修会や講座に参加しました。

その中で、起業に至るきっかけとなった2つの講座を紹介したいと思います。そのひとつは2002年に受講した中医薬膳初級講座(栄養士会主催)で、受講したメンバーで東京栄養士薬膳研究会を立ち上げました。引き続き資格取得講座を受け2005年に国際薬膳師となり栄養士としての幅も広がり、講師としてお声かけいただけるようになりました。薬膳は直接栄養士とは関係がないように思われがちですが、勉強を始めて10年目の今年、中医専門栄養士という資格も得て、中西医结合の必要性をさらに強く感じているところです。

もうひとつは、キッズキッチン協会インストラクター養成講座で、『キッチンから、たくましい子どもを育てよう。』の理念に賛同し、キッズキッチン協会認定インストラクターとなりました。

現在はインストラクターの一方で、同協会インストラクター事務局の東日本窓口として運営にもかかわらせていただいております。

受講内容の良い部分を積極的に取り入れ、栄養素だけにとらわれず、食材を生かしつつ、五感に訴える食の提案をしたいと思い、2009年に『あなたの暮らしに“ちょっとプラス”を考える会社』(株)WA・ONを立ち上げ、講師として積極的に活動をスタートしました。肩ひもの落ちないオリジナルエプロンの販売など商品開発にも力を入れております。



現在は、身近な食材でデ일리薬膳や子ども薬膳、1歳半からの五感を使った体験型料理教室や防災料理教室など各種プログラムを展開中です。

今年4月には自宅近くにスタジオを構えましたので、料理だけでなく、娘の担当するアロマやハーブの講習会、バッチフラワーレメディのセッションなど、楽しいイベントを企画、実施中です。



実施内容につきましては弊社ホームページにて随時紹介させていただいておりますので是非ご覧下さいませ。また、講座やレシピ開発等のご用命もお待ちしております。<(株)WA・ONホームページ: <http://www.waon-co.jp/>>

今後は、より多くの方々に情報発信するため、ホームページを活用し、栄養士に限らず他業種、他地域との交流を心掛け、ネットワーク作りに力を入れようと思っております。

今まで、多くの方々に助けられ、支えられてきたことに感謝し、『食べることは生きること』を提唱しつつ、食に携わる仕事ができることを幸せに感じております。

今後も常に初心を忘れず、同窓生として頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

同窓生の専門家による講座 第1回

夏バテを防ぐ薬膳

前号でご案内した薬膳の講習会を、7月28日(土)に飯田和子さん(岡田/短大28)を講師に迎えて銀座教会福音会センター会議室にて開きました。

本当に夏バテが心配になる酷暑の日でしたが、16名の参加で、体を冷やす効果があるミントのお茶をいただきながら、薬膳の基本やレシピ(苦瓜の肉詰め、野菜の甘酢漬けなど)を教えて頂いたあと、白キクラゲと蓮の実のデザートをいただきました。



夏の食養生のポイントは、苦味のある食物(苦瓜、セロリ、緑茶など)を適度にとること。冷たいものや生ものはとりすぎないようにとのことです。

「薬にもなる食材を上手に毎日の食事に取り込んでいくとよい。ただし、身体に良いといわれるものでも摂取は程々に。」と教えて頂きました。(坂下)

2012 夏雲の集い ～ 原爆死没者追悼礼拝 ～

今年で 25 回目となる関東ブロック主催「夏雲の集い」を 7 月 5 日に神奈川支部の担当で横浜指路教会をお借りして行いました。

礼拝では、藤掛牧師のメッセージ「敵を愛せよ」から、憎しみの連鎖を断ち切らなければならないと教えていただきました。



第二部では、「夏雲の集い」の提唱者である秦知子先生のご主人、俳優の山本學氏が、原爆投下の日のトルーマンの声明文に続き、栗原貞子さんの「ヒロシマというとき」、林幸子さんの「ヒロシマの空」などの原爆詩数編を怒りと悲しみを込めて朗読してくださり、最後に、「これらの詩には、生きようとした人々の力を奪った恨みや怒りが込められている。いつも秦先生は、現実をしっかりと知り、はっきりと見て、はっきりと考えることを

教えてくれた。今日参加したことは私の中で忘れ得ない時間となります。」と語られました。

その後、茶話会に移り、長尾学長から、英語だけで授業を行う新しいコースで優秀な学生が学んでいること、エリザベート音楽大学と提携したことなど、最近の大学の様子を伺い、女学院の明るい未来を感じました。



同窓会本部からも大矢会長をはじめお三方が参加してくださり、指路教会の方々も加わって、総勢 70 名の充実した集いとなりました。

坂下 恵（杉田／文英 1）

東京支部の会計年度について

いつも同窓会活動にご理解・ご協力を頂きありがとうございます。

東京支部では、2004 年度以来、会計年度を 1 月から 12 月までとして参りましたが、来年度から元に戻して、4 月から翌年 3 月までとすることにいたします。そのため、今年度は平成 25 年 3 月末日まで延長となりますので、ご了承下さい。

また、それに伴い、これまで年間三回（2 月、6 月、11 月）発行しておりました東京支部ニュースを年二回（5 月、11 月）の発行といたします。発行回数を減らすのは残念なことです、会費収入が減ってきているため、致し方ありません。今後とも、支部会費の納入にご協力をお願いいたします。

「祝! 五十周年」

白井京子(現・瀧口) 高23、文英5

■私はテレビ東京の「サブちゃんと歌仲間」に出演している。その北島三郎さんが今年、芸道五十周年を迎えられた。益々お元気で、来年も一ヶ月公演を三カ所で計画しているそうだ。また先日は、木の実ナナさんの芸能生活五十周年記念リサیتالにも出かけて、楽しいひと時を過ごした。中尾ミエ、園まり、伊東ゆかりの三人娘も五十年だそうだ。NHK「みんなのうた」放送開始五十年、鈴鹿サーキット、苗場スキー場開場五十年、首都高速開通、明治アーモンドチョコレート、リポビタンD発売五十年、007シリーズ、ホテルオークラ東京、そして、ビートルズもデビュー五十年。五十年前は昭和三十七年。二年後に東京オリンピックを控えて、右肩上がりに国民みんなが夢と希望にあふれていたのだろう。私は小学校四年生。NHK広島放送児童劇団に入ったのが四年生だったから、もしかして私も放送生活五十年? 給料も無いのに、よくやってきたなあ。

稲刈やこの道を行く五十年 白井薔薇

■半年ほど前、友人に教えられたこと。財布の中身を出して空にし、満月に向かって空の財布を開いてお願いするとお金が入ってくるとのこと。早速、次の満月に私も試してみた。財布の中身を出して開き、満月に向かって「十万円お願いします。」と。友人に話したら、「だめだめ、金額はもっと控えめに。そして、それを過去形にするのよ。」へえ、そうかと、次の満月に「三万八千円、ありがとうございまして。」とお祈りしたら、本当に思いがけない、額も近いお金が入ってきて驚いた。ラベリング効果というそうだ。「予言の自己成就」といって、元は悪い意味だったようだが、最近では良い意味でも使われしく、「たとえ根拠の無い予言(噂や思い込み)であっても、人々がその予言を信じて行動することによって、結果

として予言どおりの現実が作られるという現象のこと。オリンピックで金メダルを取ったボクシングの村田諒太選手も、ロンドンに出かける前、冷蔵庫に「オリンピックで金メダルをとりました。ありがとうございます。」という貼り紙をしていたそうだ。我が家の前の遊歩道の並木が道路拡幅のためということで伐られそうだから、月にお願ひしようかしら。「伐採をとめてくれて、ありがとう。」

伐採の反対集会良夜かな 白井薔薇

■広島酒どころ、西条では、毎年十月のはじめに酒まつりというのが行われる。五百円で杯を買って西条中の酒蔵で試飲できる。一度、行ってみたいなあと思っていたら、なんと、今年十月六、七日の二日間、七月に銀座にできたばかりの広島ブランドショップ「tau」(「届く」の広島弁)を中心にその近くの山形、高知、沖縄のブランドショップを五百円で買った杯を持って飲み歩くという「酒まつり」が開催された。私もお酒好きの友人を誘って秋の日差しの暖かい日、出かけた。ちよこつとおつまみもあって、おいしくいただきました。

憂あり新酒の酔に托すべく 夏目漱石
弟子一人増えたることよ新酒酌む 白井薔薇

■池田瞳さんから投句をいただきました。

勸行の太鼓の響柿若葉 池田瞳
ひとところ川は真直ぐ手鞠花 〃
心天巢鴨縁日人の波 〃

あちこち出かけた思い出を五七五にしておくといいですね。
皆様からの投句をお待ちしています。

俳号 白井薔薇
しらいそうび

俳句結社「童子」同人、日本伝統俳句協会会員
テレビ東京「サブちゃんと歌仲間」に出演中



クリスマス会のお知らせ

12月1日(土) 1時～3時 銀座教会5階 ”ぶどう”

礼拝、懇親会、讃美歌を歌いましょう！ 他支部の方も歓迎！
ご希望の方は銀座教会の正午礼拝へもどうぞ（大礼拝堂にて 12:15～45）
お問い合わせ：TEL/FAX 03-5386-0740 坂下

千葉支部 12月3日(月) 10時半～2時 新津田沼教会
礼拝と会食 お問い合わせ：TEL/FAX 043-266-3342 村中

神奈川支部 12月7日(金) 12時～3時
パセラリゾーツ 横浜西口ハマボールイアス店 会費 ¥5,000
お問い合わせ：TEL/FAX 0467-73-1370 中村（申込〆切 11/17）



岡崎智恵子ソプラノリサイタル

没後 100 年－マスネに寄せて



ソプラノ 岡崎智恵子（高校 22 回）
ピアノ マウリツィオ・カルネツリ

2012 年 12 月 2 日 (日)

銀座 王子ホール

（東京メトロ銀座駅 A12 出口徒歩 1 分）

17 時開演（16 時 30 分開場）

全自由席 5,000 円、学生 3,000 円

■プログラム

マスネ：生かされた時、
オペラ「ヘロディア」よりサロメのアリア
カゼッラ：歌曲集「1300 年代の 3 つの歌」全曲 他



■後援 公益財団法人 東京二期会
東京芸術大学音楽学部同声会
広島女学院同窓会 東京支部

■チケット取扱い

二期会チケットセンター 03-3796-1831
広島女学院同窓会 東京支部 03-5386-0740（坂下）

新役員の紹介

東京支部ニュース59号の「同窓生の輪」に「向こう岸へ渡ろう」を寄稿して下さった千代崎満子さん（白根/高 33、文英 15）が宗教委員として役員に加わって下さいました。よろしくお願いします。

昨年の「広島女学院創立 125 周年を祝う会」の時に歌って下さった岡崎智恵子さんのリサイタルです。チケットの取り次ぎもいたしますので、お問い合わせの上、お出かけください。

広島ブランドショップ TAU
＜本物の広島を銀座で堪能！＞

中央区銀座 1-6-10
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車
6 番出口／徒歩約 1 分